

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 綜研化学株式会社

コード番号 4972

URL <http://www.soken-ce.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 逢坂 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 滝澤 清隆

(TEL) 03-3983-3268

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	20,663	3.9	1,089	8.0	1,100	3.9	700	9.7
26年3月期第3四半期	19,887	4.6	1,008	△25.9	1,059	△19.2	638	△27.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,223百万円(△29.0%) 26年3月期第3四半期 1,722百万円(95.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	84.48	—
26年3月期第3四半期	77.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	33,655	20,831	58.6
26年3月期	34,026	19,890	55.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 19,732百万円 26年3月期 18,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	5.2	1,700	9.5	1,550	△0.7	1,000	9.4	120.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 3社(社名) 浜岡綜研株式会社、狭山綜研株式会社、
綜研新材料(啓東)有限公司

(注) 詳細は、添付資料3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	8,300,000株	26年3月期	8,300,000株
27年3月期3Q	13,748株	26年3月期	13,702株
27年3月期3Q	8,286,271株	26年3月期3Q	8,286,301株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では、消費増税後の個人消費の低迷が長引き、海外では、アジア経済の持ち直しの動きがみられたものの、中国経済の減速懸念が強まるなど、引き続き先行き不透明な状況にありました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中国・東南アジアでの販売体制強化、国内での生産合理化や中国での生産能力増強によるコスト競争力向上、市場・顧客ニーズに応じた新製品展開の加速、新規事業の早期立上げに注力してまいりました。

ケミカルズについては、中国市場における微粉体および加工製品の販売が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。装置システムについては、工事完成高が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、206億63百万円（前年同期比3.9%増）となりました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受けたものの、加工製品の販売増およびコスト削減等により、経常利益は11億円（前年同期比3.9%増）、四半期純利益は7億円（前年同期比9.7%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は189億75百万円（前年同期比6.5%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、中国市場における液晶ディスプレイ用途向けの販売数量が増加し、売上高は95億8百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

微粉体製品は、情報記録材料用途向けの販売数量が減少したものの、中国市場における光拡散フィルム用途向けの販売数量が増加し、売上高は19億77百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

特殊機能材製品は、電子材料用途向けの販売数量が減少したものの、円安の影響により、売上高は27億82百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

加工製品は、中国市場における機能性粘着テープの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上高は47億6百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

<装置システム>

装置システムは、熱媒体油の販売が増加したものの、工事完成高が前年同期を下回り、売上高は16億88百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて3億71百万円減少し、336億55百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したものの、現金及び預金、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ4億20百万円減少し、177億80百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ48百万円増加し、158億75百万円となりました。

一方、負債については短期借入金、長期借入金が減少したことなどにより、前期末に比べ13億12百万円減少し、128億23百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、その他の包括利益累計額の増加などにより、前期末に比べ9億40百万円増加し、208億31百万円となりました。

これらにより、自己資本比率は前期末55.7%から2.9ポイント増加し58.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年11月5日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社でありました浜岡綜研株式会社及び狭山綜研株式会社は、平成26年4月1日付で、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、当社の連結子会社でありました綜研新材料（啓東）有限公司は、清算手続きが完了したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。なお、この変更に伴う期首の利益剰余金及び損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,698,600	2,435,073
受取手形及び売掛金	8,243,716	9,260,303
有価証券	1,699,995	999,989
商品及び製品	2,801,387	3,233,551
仕掛品	34,187	31,859
原材料及び貯蔵品	1,124,282	1,219,974
繰延税金資産	246,901	296,830
その他	355,575	306,911
貸倒引当金	△4,160	△4,275
流動資産合計	18,200,487	17,780,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,322,700	12,436,313
減価償却累計額	△5,814,771	△6,194,309
建物及び構築物(純額)	6,507,928	6,242,004
機械装置及び運搬具	15,030,192	15,415,683
減価償却累計額	△11,107,232	△11,773,694
機械装置及び運搬具(純額)	3,922,959	3,641,989
土地	1,218,066	1,231,002
建設仮勘定	1,164,953	1,765,152
その他	1,807,263	1,908,301
減価償却累計額	△1,355,289	△1,457,057
その他(純額)	451,973	451,243
有形固定資産合計	13,265,881	13,331,393
無形固定資産		
その他	230,613	188,163
無形固定資産合計	230,613	188,163
投資その他の資産		
投資有価証券	750,982	926,110
関係会社出資金	470,227	474,708
繰延税金資産	541,511	472,956
その他	633,064	484,240
貸倒引当金	△66,010	△2,560
投資その他の資産合計	2,329,776	2,355,455
固定資産合計	15,826,271	15,875,012
資産合計	34,026,758	33,655,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,666,663	5,709,704
短期借入金	2,794,134	2,082,794
1年内返済予定の長期借入金	1,688,540	1,440,944
未払法人税等	62,505	68,202
賞与引当金	436,612	208,640
完成工事補償引当金	9,600	8,000
工事損失引当金	217	564
役員賞与引当金	35,900	24,750
その他	1,340,104	1,366,577
流動負債合計	12,034,276	10,910,177
固定負債		
長期借入金	436,314	369,824
退職給付に係る負債	1,443,981	1,437,127
その他	221,290	106,490
固定負債合計	2,101,586	1,913,441
負債合計	14,135,863	12,823,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,816
利益剰余金	10,576,585	10,986,581
自己株式	△10,997	△11,051
株主資本合計	17,329,967	17,739,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,602	304,828
為替換算調整勘定	1,515,063	1,749,936
退職給付に係る調整累計額	△73,398	△61,904
その他の包括利益累計額合計	1,628,267	1,992,859
少数株主持分	932,659	1,098,842
純資産合計	19,890,895	20,831,612
負債純資産合計	34,026,758	33,655,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	19,887,930	20,663,397
売上原価	13,600,726	14,280,481
売上総利益	6,287,203	6,382,916
販売費及び一般管理費	5,278,794	5,293,440
営業利益	1,008,409	1,089,475
営業外収益		
受取利息及び配当金	28,040	35,587
持分法による投資利益	17,450	13,124
為替差益	77,209	52,472
補助金収入	60,868	50,513
雑収入	65,551	55,610
営業外収益合計	249,121	207,307
営業外費用		
支払利息	158,463	152,984
雑損失	39,625	43,091
営業外費用合計	198,089	196,076
経常利益	1,059,442	1,100,707
特別利益		
固定資産売却益	—	907
特別利益合計	—	907
特別損失		
固定資産売却損	59	—
固定資産除却損	15,411	5,243
子会社整理損	27,848	—
特別損失合計	43,319	5,243
税金等調整前四半期純利益	1,016,123	1,096,370
法人税等	336,431	254,406
少数株主損益調整前四半期純利益	679,691	841,964
少数株主利益	41,630	141,948
四半期純利益	638,061	700,016

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	679,691	841,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,676	118,225
為替換算調整勘定	914,549	239,558
退職給付に係る調整額	—	11,493
持分法適用会社に対する持分相当額	60,504	12,283
その他の包括利益合計	1,042,730	381,560
四半期包括利益	1,722,422	1,223,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,567,855	1,064,608
少数株主に係る四半期包括利益	154,566	158,917

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,810,623	2,077,306	19,887,930	—	19,887,930
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15,717	136,962	152,679	△152,679	—
計	17,826,341	2,214,268	20,040,609	△152,679	19,887,930
セグメント利益又は損失(△)	1,028,914	△51,056	977,857	30,552	1,008,409

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額30,552千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,975,162	1,688,234	20,663,397	—	20,663,397
セグメント間の 内部売上高又は振替高	267	106,698	106,965	△106,965	—
計	18,975,430	1,794,932	20,770,363	△106,965	20,663,397
セグメント利益又は損失(△)	1,051,644	△22,391	1,029,252	60,223	1,089,475

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額60,223千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。